

特集 平成21年度市の予算と主な取り組み

平成21年度予算の特徴 合併に伴う主な施策

総合計画及び新市建設計画に基づきながら、将来の公債費負担など財政状況をかんがみ、緊急性・優先度を十分検討し、推進していきます。これらの事業は、財政的に有利な合併特例債や過疎対策債などを活用しています。

【主な事業と予算額】

学校教育施設耐震化整備事業

1億2,248万円

平成20年度から24年度にかけて、旧建築基準法によって建築された学校教育施設について、耐震診断結果に基づき緊急性を要する建物から、計画的に耐震補強を実施し

設や漁港の整備など産業の振興を図ります。

【主な事業と予算額】

公共下水道施設整備事業

27億545万円

牛窓処理区では長浜・紺浦地区、邑久処理区では福元・山田庄地内の管渠工事を進めます。

長船中央処理区では、引き続き管渠及び浄化センターの工事を行い、平成22年4月には一部地域で供用開始する予定です。

農業集落排水施設整備事業

11億3,678万円

尻海地区では引き続き管渠工事を実施し、公共下水道施設の牛窓処理区に接続する予定です。

美和・牛文地区では、引き続き管渠及び浄化センターの工事を行い、平成22年4月には供用開始する予定です。

浄化槽設置整備事業

3,521万円

下水道事業計画区域外の地区の環境を改善するため、浄化槽を設置する場合には助成を行います。

市道改良舗装事業

2億6,617万円

市道長船線のほか、生活道路をはじめ市道の改良や維持補修工

ます。

今年度は、牛窓東小学校体育館の耐震補強工事と、翌年度に予定している邑久小学校校舎などの耐震補強工事に伴う実施設計を行います。

市道南北線新設事業

1億9,316万円

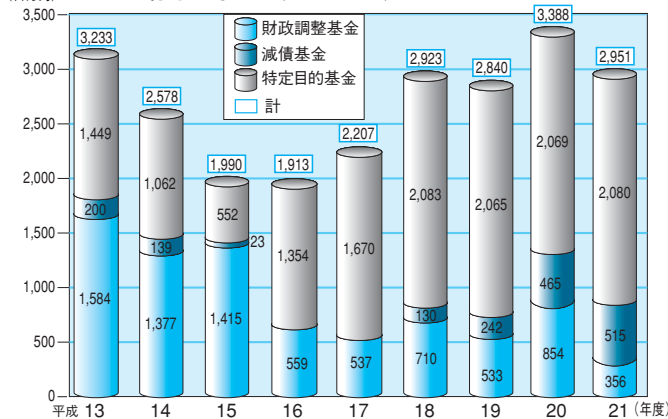
平成18年度から22年度にかけて、各地域を連絡する地域連携軸として、市道南北線を整備します。

美術館等整備事業

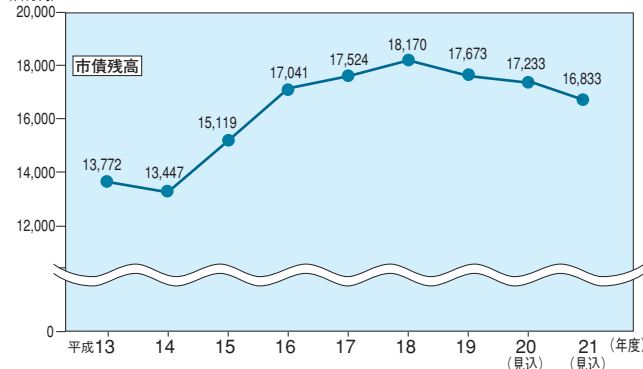
2億7,370万円

平成20年度から21年度にかけて、

基金残高の状況(普通会計)



市債残高の推移(普通会計)



用語説明

●市の会計

市の会計は基本的な経費を管理する一般会計と、下水道や国民健康保険など特定の事業を管理する特別会計、病院事業や水道事業を管理する事業会計から成り立っています。

ただし、市の財政状況を見る場合は、一般行政部門に関する「普通会計」と、病院事業や水道事業などに関する「公営企業会計」に区分するのが一般的です。

本市の「普通会計」は、一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・公共用地先行取得事業特別会計を指します。

また、普通会計以外の会計をまとめて「公営事業会計」といいます。

●地方交付税

地方が全国の一定の水準で行政運営ができるよう国から交付されるものです。

一定の計算で金額が決まる普通交付税と、災害などの特殊な事情に応じて金額が決まる特別交付税があります。

●臨時財政対策債

地方交付税の削減による地方の財源不足を補てんするため、特例的に認められる市債で、この元利償還金の全額は、普通交付税の算定の積算基礎に算入されません。

●財政調整基金・減債基金

財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するための基金です。減債基金は、市債を計画的に償還するための基金です。

●特定目的基金

目的に沿って積み立て運用するための基金です。合併後の地域振興などのために合併特例債を活用してまちづくり振興基金を積み立てています(積立総額19億4,400万円)。

●公的資金補償金免除繰上償還

通常の市債の繰上償還については、利子相当分を補償金として支払う必要があります。

平成19年度から21年度までの臨時特例措置として、一定の条

などを行います。

農業用施設整備事業

8,988万円

大富地区の水路改良のほか、土地改良やため池補強、ほ場基盤整備などを行います。

港湾漁港施設整備事業

6,980万円

県管理の虫明漁港や牛窓港をはじめ港湾や漁港、漁場の整備などを行います。

子育て支援の充実、健康づくり・地域福祉の推進

安心して子育てのできる支援や環境整備、心と体の健康づくりの推進を図ります。

また、障害者の社会参加と自立の推進や豊かな長寿社会の実現を図ります。

